

令和7年10月17日（金）第6限

一般社団法人中部 SDGs 推進センター副代表理事、百瀬則子様を講師にお招きし、「エシカル消費と SDGs：持続可能な消費の取組み」と題し、国際探究科1期生39名と留学生2名を対象に、講義をしていただきました。

「エシカル消費」とは何かについて百瀬様から説明を受けた後、生徒たちは、普段の買い物について振り返り、さらにどういう点に意識すると環境やモノを作っている人のことを考えたエシカルな買い物になるのかを、グループに分かれ、意見を出し合いました。百瀬様が持って来てくださった商品の中から、自分たちが購入したいと思ったモノを選び、どうしてそれを選んだのかを発表し合いました。その商品は普段生徒たちが行くスーパーで売られているものでしたが、それらにはエシカル消費の取り組みを示す「フェアトレード認証ラベル」「エコマーク」といった環境マークがついていました。水産資源や環境に配慮した漁業で獲られた水産物に付けられる MSC「海のエコラベル」がついたかつおぶしを選んだグループもありました。生徒も教員もこのマークは初めて見るものでした。今回の講義をきっかけに、買い物から社会を変える意識が芽生え、次からはパッケージを見て、環境に優しいモノや子どもを労働者としないことに貢献するモノを選ぶようにしたいと語る生徒の姿に頼もしさを感じました。50年後の世界もすべてのいきものが安心して暮らせる明るい未来を実現してくれるものと信じています。

丹羽